

中期経営計画 進捗状況報告

(2023.3.31 現在)

R5 Plan 2022-2024

～ 次世代へつなぐ柑橘産地 創造と挑戦 ～

J A西宇和は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革の実践に取り組んできました。

その結果多くの組合員から一定の評価をいただき自己改革への一層の期待を感じています。地域になくてはならないJ Aであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、「不断の自己改革」に取り組んでいます。

農業者の
所得**増**大



農業生産
の**拡**大



地域の
活性化



農作業支援の充実強化による生産農家戸数・ 栽培面積の維持・確保 会員の維持と組織活動の活性化と連携強化

■ 栽培面積 温州／1,450ha 中晩柑／1,100ha
■ 協力組織連携強化 活動回数 20回／年

重点実施事項	2023.3 月末具体的取組進捗状況	2024 年度末目標値
1.担い手支援	●収穫アルバイト受入農家数 231 戸 526 名、約 21,000 人役の受入れを行いました。 ●農作業支援は 1,620 人役となりました。	アルバイト事業 20,000 人役／年 JA 農作業支援事業 2,500 人役／年
2.担い手確保	●農業体験者 7 名、10 名が就農を目指して研修を実施、内 4 名が就農しました。 ●現在研修園地として 2.1ha の栽培管理を行い、1.3ha の園地を研修生に引継ぎました。	体験 5 人／年 研修生 2 人／年 新規就農・事業継承 3 名／年
3.次世代総点検運動	●令和 5 年 1 月にアンケートを配布、回収を終えて集計、分析を実施します。	農家園地台帳 作成 1 回／3 年
4.協力組織の 連携強化	●同志会会員数 351 名、研修会 2 回、食育活動を管内小学校を中心に 5 か所実施、消費拡大 P R も 3 回実施しました。 ●女性部会員数 458 名、研修会・交流会を 5 回、P R 活動 5 回、マイスター研修 3 回、食育活動 1 回を実施しました。 ●SNS を利用した情報発信を開始しました。	同志会活動の活性化 女性部・フレッシュミズ 活動の活性化

高品質安定生産への取組強化と市場出荷量の確保

■ 生産量 温州みかん／38,000t 中晩柑／15,000t
■ 市場出荷量 温州みかん／30,000t 中晩柑／14,000t

重点実施事項	2023.3 月末具体的取組進捗状況	2024 年度末目標値
1.市場出荷数量 の確保	●苗木予約は、主要温州 44,210 本、主要中晩柑 12,590 本となり、約 37ha の改植面積となりました。 ●マルチ被覆面積は 680 戸 300.9ha の実績、マルチドリップ園地は 29 園地 6.7ha を補助事業で設置しました。 ●205 園地の土壌分析を実施、石灰資材 33,400 袋の施用となりました。 ●JA にしう独自の高品質生産支援対策事業によりサンライム▲200 円、苦土石灰▲100 円の助成を実施しました。	個別面談戸数 1,000 戸／年 改植 温州みかん 40,000 本／年 中晩柑 30,000 本／年 マルチ被覆面積 330ha／年 石灰資材施用袋数 30,000 袋
2.補助事業の 有効活用	●園内道 26 園地、単軌道整備 130 園地、灌水施設 45 園地、合計で 201 園地の事業を実施しました。 ●電気柵・鉄筋柵を 134 戸で実施しました。 ●2,641 頭のイノシシの捕獲補助を行いました。	補助事業対象農家数 125 園地 鳥獣害対策取組園地 150 園地



みかんアルバイト



同志会出前授業



マンダリンスクール

共販率向上による長期安定供給の確立と 共選再編

■ 果実販売高

温州／100億円

中晩柑・落葉／50億円

重点実施事項	2023.3月末具体的取組進捗状況	2024年度末目標値
1.長期安定供給の確立	●温州、中晩柑ともに品種別の販売対策会議を開催し、取引市場に出荷販売計画を提示しました。 ●八協女性部（試食無）同志会（試食有）による推奨販促、青果販売部で店頭試食販売を実施しました。 ※令和4年度市場出荷数量 温州みかん 27,087t 中晩柑 11,415t	市場出荷数量 温州みかん 30,000t 中晩柑 14,000t
2.宅配小売数量の増大	●全農食品より新規産直品の取扱を予定しています。 ●11月より野菜・果物の新規取扱いを開始しました。 ●カード決済の導入に向けて検討を進めています。 ※令和4年度供給実績 418,864千円	令和6年度供給高 5億円／年
3.荷造り経費の節減	●生産者とのデータ連携システムについてみつる選果場稼働時期に合わせて全選果場での導入を準備しています。	令和6年度導入予定

生活メインバンク機能強化による 経営基盤の安定化

■ 総貯金残高目標／1,580億円

重点実施事項	2023.3月末具体的取組進捗状況	2024年度末目標値
1.情報収集による個人貯金の純増	●年金受給者優遇貯金「まごころ」の獲得については45億24百万円で75.4%の実績となりました。	まごころ定期貯金残高 60億円／年
2.年金保有対策	●MAにより月14.9件／月の訪問、カウンターセールスは3.3件／月となっており、266件の年金予約獲得で78.8%の実績にとどまりました。 ●指定替え推進については、8.9件／月で110件を獲得、91.6%の実績となりました。	年金予約獲得 360件／年 競合他社からの指定替 120件／年

営農部門との連携によるニーズに合った 農業資金の提案

■ 収益力の強化・安定化

貸出金残高／8,000百万円

重点実施事項	2023.3月末具体的取組進捗状況	2024年度末目標値
1.ローン及び融資実績の強化	●87件の農業メイン強化先への訪問は累計で365件となっており、新規実行額は2億100万円となりました。 ●市役所主催の会議等へ参加して、情報交換を行っています。毎年1月に新規就農者向けの研修会を開催しています。	農業融資実行額 2億円／年



特産センター記念イベント



日土・保内営農購買部会



女性部かごバッグ作り

共済部門

組合員の「安心」と「満足」提供のための 持続可能な事業基盤の確立

■ 共済事業基盤の確保 契約者人数 23,000 人／R 6

重点実施事項	2023.3 月末具体的取組進捗状況	2024 年度末目標値
1. 長期共済の強化	●「はじまる活動」1,487 人への訪問と大幅に上回ったものの 3 Q 訪問では L A を中心に展開しましたが 15,618 人の訪問実績となりました。	3 Q 訪問活動人数 24,000 人／年
2. 短期共済の強化	● A T K 活動（愛車点検活動）によるアタック活動を実施しましたが、自動車共済契約件数 14,884 件、自賠責契約件数についても 7,502 件の実績となりました。	自動車共済契約件数 15,000 件 自賠責獲得件数 7,600 件

経済部門

営農振興部との連携強化による トータルコストの低減

■ 経済事業総利益 6 億 400 万円／R 6

重点実施事項	2023.3 月末具体的取組進捗状況	2024 年度末目標値
1. 経済部門供給高の確保	● C A と営農振興部との連携により必要施肥量を通知し、予約取りまとめを実施、価格高騰対応として秋肥、春肥の利益高を据置き、尚且つ▲ 100 円／袋の値下げをして供給しました。 ● 他店の価格調査を行い、冬マシン油 18ℓ に対して▲ 1,000 円／缶の奨励措置を実施しました。 ● ガソリンの新規現金会員獲得数は 312 件と大幅に計画を上回ることができました。 ※令和 4 年度経済部門供給高／39 億 4,900 万円	経済部門供給高 37 億 6,900 万円
2. 生活部門供給高の確保	● 生活店舗の巡回指導を実施しました。 ● 店舗の廃棄ロスの削減に取り組み、成果を上げる事ができました。 ※令和 4 年度生活部門供給高／10 億 600 万円	生活部門供給高 10 億 4,800 万円

総務企画 管理部門

J A の活性化への取組強化

■ 自己資本比率／13.75%

重点実施事項	2023.3 月末具体的取組進捗状況	2024 年度末目標値
1. 組合員数の増加と次世代対策	● 女性組合員の増加をいただきましたが 3,507 人で比率は 32.6% となっています。 ● 今年度 3 年ぶりに地区座談会を開催することができました。 ● 小学生によるミカンの収穫体験、出前授業、クリスマスオレンジフェスタ、経済センターでの創業祭を開催、明日の果樹を語る会も 3 年ぶりに開催することができました。	女性組合員比率 33% 座談会・イベントの開催 1 回／年・各事業所
2. 安定した事業継続・職場の活性化	● 職員採用では地元募集活動を含めインターネットでの募集活動も積極的に行いましたが、10 名の募集に対して 5 名の採用にとどまりました。 ● 管理職育成のため外部委託研修会を開催しました。 ● 資格取得等、職員の資質向上の取組を積極的に行いましたが、合格率 70% の目標は未達となりました。	新規採用人数 10 名

再編取組状況

1. 信用共済業務

信用店舗

次期店舗信用端末の設置場所・台数が承認されたことを受け、令和5年5月以降に設置場所の採寸を予定しています。

矢野崎出張所は大島事業所の対応を考慮したうえで、MA配置・窓口のみの店舗を検討します。

アプリ・インターネットバンキングの利用を推進し、1,511件の個人IBの登録をいただいております。

ATM機器

真穴・川上事業所はATMのアマンド化・アウトソーシング化により3台から2台への変更を予定しており、設置場所を検討しています。日土出張所はみつる選果場の建て替えを考慮し、利用件数と併せて検討しています。

共済業務

LA・MAの複合渉外体制への移行と人員体制の見直しを行い、令和5年度の人事異動で6名の複合渉外担当者を設置しました。

2. 販売業務

みつる選果場集約と共選組織合併

みつる・伊方の組織合併は共選総会で承認され、今後共同販売等も計画しています。また新選果場施設は建物、プラントの概略設計が出来上がり、今後は細部について検討を進めていきます。

将来の統一販売の検討と共選組織の法人化

温州みかんレギュラー品はNマークで統一しています。また、特選箱については、千両、なごみ、浜美人でNマークを導入しており、今後も特選品にNマーク導入を啓蒙していきます。法人化については統一マークを目指しながら検討していきます。

流通センターの移転とスマルマークの取扱い

みつる新選果場の整備後(R8以降)に流通センター機能を伊方選果場へ移転する計画です。それまでにスマルマークの取り扱いを整理します。

3. 購買業務

保内営農管理センターの経済センター移転と喜須来店舗の廃止

令和5年4月17日に経済センターに移転し、保内営農経済センターとしました。センター長を1名にしましたが、他の人員は今まで通りの配置とし、今後は状況を見ながら、効率化を図ったうえで見直していきます。喜須来店舗は移動購買者の拠点となっており、当面は現状通り対応します。

三瓶給油所のセルフ化

セルフ化改修工事の費用対効果、灯油の配達、人員の配置等の課題もありますが、課題を整理して将来を見据えた中で検討を進めていきます。

電子決済システム導入

電子決済業者と協議を進めており、令和5年7月のJA電算システム更新に併せ取扱いを目指しています。セルフスタンドについては、令和5年7月よりQRコード決済を導入します。



選果場



Nマーク



選果場見学



同志会伊予柑イベント



共済ロープレ



明日の果樹を語る会

中期経営計画（R5Plan2022～2024）取扱事業実績

（単位：千円）

項 目			令和 4 年度計画	令和 4 年度実績	令和 5 年度計画	令和 6 年度計画
信用事業	調達	貯 金	156,237,000	154,179,566	156,140,000	158,000,000
		借 入 金	0	0	0	0
	運用	預 金	136,416,000	135,158,331	137,466,000	140,445,000
		有 価 証 券	9,779,000	9,478,110	10,772,000	11,265,000
		貸 出 金	8,528,000	8,203,720	8,185,000	8,000,000
共済事業	長期共済新契約高		13,345,888	10,464,041	12,000,000	11,000,000
	長期共済保有高		316,500,000	318,171,844	300,900,000	286,500,000
	年金共済新契約高		80,650	111,479	80,650	80,650
	年金共済保有高		3,563,090	3,677,016	3,407,000	3,262,000
	短期共済掛金額		788,100	753,687	788,000	788,000
購買事業（供給高）	生産資材	肥 料	646,727	747,987	634,068	629,068
		農 薬	1,272,681	1,263,953	1,270,797	1,267,989
		農 機	187,670	236,036	185,471	183,397
		燃 料	931,800	931,399	930,814	929,814
		その他生産資材	529,474	498,052	524,882	515,778
	生活資材	店 舗	329,926	297,508	320,767	317,500
		主 食	31,977	27,258	29,415	29,116
		電 器 製 品	43,199	38,892	42,631	41,841
		耐 久 資 材	83,885	63,201	83,124	81,585
		日 用 雑 貨	107,671	106,668	102,682	97,693
		L P G	270,000	272,526	256,968	243,936
		その他生活資材	468,647	472,745	477,610	480,380
	合 計		4,903,657	4,956,225	4,859,229	4,818,097
販売事業	温 州		10,216,000	10,153,910	10,200,000	10,200,000
	中 晩 柑		4,699,300	4,680,412	4,700,000	4,700,000
	落 葉 他		314,370	312,119	300,000	300,000
	合 計		15,229,670	15,146,441	15,200,000	15,200,000

J Aにしようでは、組合員の皆様から自己改革に対する取組に対するご意見を求めています。これまでの取組をご理解いただくとともに、改善すべきこと、要望等がありましたらご意見をください。皆様のご意見をもとに、更なる自己改革につなげていきます。

引き続き、J Aにしようの事業や様々な取組にご理解・ご協力をお願いいたします。